

実施計画事業名		自然科学学習支援事業			評価対象年度	平成 22 年度		
評価担当部署		教育部 科学振興課			課長(主幹)名	成澤 正明		
総合計画体系	分野	1	教育・文化					
	政策	3	活気あふれる学びの場づくり					
	施策	1	学ぶ心の育成を推進します					
	関連施策							
現状と課題	水族館は昭和43年、科学館は昭和49年に開設し、以後40年以上が経過していることから、施設の老朽化等が進行しているが、水族館は道北地域唯一の施設でありフウセンウオなど独自の展示を行い、また科学館も南極コーナーを設置するなど、地域性を活かした様々な企画・展示、主催事業などを通じ、近年、利用者が大幅に伸びている。しかし、抜本的な改修等、施設のあり方について検討が必要な状況である。							
目的	市民や観光客に、自然科学や海、魚類などについて知識と教養を深めてもらうための学習機会の提供							
5ヶ年展開の	①科学館…近年、子どもたちの科学への関心が高まっており、これらのニーズに応えるサイエンススクールの充実を図るとともに、施設の増改築等を検討しながら、南極をキーワードに地球環境や自然科学をテーマとした施設づくりを進め、施設としての魅力を高めていく。 ②水族館…独自の展示や飼育体験学習を拡充を図る。施設や附帯設備の更新を計画的に進めていく。							
成果指標	名称		単位			21年度	22年度	25年度
	青少年科学館の総入館者数 ポジャップ寒流水族館の総入館者数		人		目標	15,000 35,000	15,000 35,000	15,000 35,000
活動指標	名称		単位			21年度	22年度	25年度
	青少年科学館の主催事業の回数		回		目標	35	35	35
活動指標	説明				実績	37	43	
	ポジャップ寒流水族館における飼育体験学習の回数		回		目標	10	10	10
活動指標	説明				実績	10	10	
	ポジャップ寒流水族館の展示魚族の種類		種		目標	125	125	130
活動指標	説明				実績	126	126	
					目標	-	-	-
活動指標	説明				実績			
事業費の実績			単位	21年度 (決算)	22年度 (評価年度決算見込)	23年度 (予算)	備考	
	直接事業費(A)		千円	42,543	48,308	39,036		
	国庫支出金		千円	0	0			
	道支出金		千円	0	0			
	起債		千円	0	0			
	その他		千円	11,401	11,633	15,704		
	一般財源		千円	31,142	36,675	23,332		
	この事業にかかる職員数		人/年	7.00	5.20	8.00		
人件費(B)		千円	48,482	35,313	54,328			
計(A+B)		千円	91,025	83,621	93,364			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	a a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する>
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	b a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する> 両施設とも、老朽化といった問題も抱えているが、展示方法等更なる検討していく必要。
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
コ ス ト 効 率	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総 合 評 価	A 概ね問題なし <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 両施設とも老朽化した施設であり、特に水族館は全面改修は望めない状況であるが、展示方法等について更なる工夫(限度はあるが)の余地あり。 また、両館の一体化運営についても、できる範囲内で引き続き進めていく。

【2次評価】

成 果	a	細事業の構成	b	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総 合 評 価	A 概ね問題なし <2次評価者の視点からコメントを記入する> 1次評価のとおり取り進めること。						

【内部評価委員会】

意 見	
--------	--